

教員養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

(1) 教員養成の目標

本学では創立者の故小原國芳の言葉として、どの学部の教員養成課程においても、望まれる教師像である玉川教師訓「子どもに慕われ、親たちに敬われ、同僚に愛せられ、校長に信ぜられよ」を実践できる教師の育成を目指しています。さらに、知識基盤社会における高度専門職業人としての教員を育成するため、玉川教師訓をもとにした「本学が目指す教師像」として、次の力量を備えた教員養成を目的として日々の教育活動・研究活動を進めています。

＜本学が目指す教師像＞

- ① 確かな学力と健やかな身体を育てる「学習指導力」
- ② 豊かな心を育て自己実現を図る「幼児・児童・生徒指導力」
- ③ とともに高めあうクラスをつくる「学級経営力」
- ④ 新たな学校づくりを推進する「協働力」

(2) 当該目標を達成するための計画

本学では通学課程 5 学部 11 学科、通信教育課程においてそれぞれの学部学科の専門領域を活かした教員養成を行っています。

特に通学課程においては、教職に就くという大学入学時のモチベーションを持続させ質の高い教員を養成するために、1 年次から教職課程受講支援を実施し、大学 4 年間でのトータルな教職課程受講支援プログラムを構築して 4 年間一貫した学生支援の実践を行っています。

＜玉川大学の教職課程受講支援プログラム＞

●学部ごとの実施内容

本プログラムでは、1年次から4年次まで段階的に、教員採用試験合格へ向けて必要なスキルを習得していきます。

以下に示す図のとおり、入学年度、学部ごとに一部実施時期が異なりますが、同様の内容を実施します。

令和6年度入学生以降

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
ステップ		教育現場に学ぶ							
		教養を身につける		実践的指導力の基礎を身につける		実践的指導力を身につけ、採用試験に備える			
大学の カリキュラム (授業)	理論	教職の意義と基礎理論を学ぶ		指導法の基礎を学ぶ		教科・教職の専門性と 実践力を養う		実践と応用	総まとめ
		教科の基礎を学ぶ							
						教職の専門的な学修		教育実習3単位	教職実践 演習
				各教科の指導法に関する学修					
			領域・教科に関する専門的事項・教育の基礎的理解に関する科目の学修						
	実践					教育実習先開拓		教育実習事前指導	
学校体験活動									
参観実習+学校体験活動A 1単位 参観実習+教育・保育体験活動A 1単位		介護等体験 2単位 教育インターンシップA・B 各2単位		学校体験活動B 1単位 教育・保育体験活動B 1単位 教育インターンシップC・D 各1単位		学校体験活動C・D (現場実習) 各1単位			
採用試験対策		ガイダンス	筆記・面接・論作文等試験対策			直前対策	教員採用試験	直前対策	教員採用試験
						筆記・面接・論作文等試験対策、総まとめ			
		模擬試験	模擬試験・自主学修会等			模擬試験・自主学修会等			特別講話等

※芸術学部は第6セメスターで教育実習を実施するため、実習先開拓、事前指導も前倒しになります。

令和5年度 以前入学生

玉川大学の教職課程受講支援プログラム								
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
ステップ	教職の意義と基礎理論を学ぶ		指導法の基礎を学ぶ		教科・教職の専門性と実践力を養う		実践と応用	総まとめ
	教科の基礎を学ぶ							
大学の カリキュラム (授業)					教職の専門的な学修		教育実習	教職実践 演習
	各教科の指導法に関する学修							教育実習 事後指導
	教科に関する専門的事項・教育の基礎的理解に関する科目の学修							
学外実習など	参観実習	参観実習	学校体験活動(教育ボランティア・教育インターンシップなど学校現場(他)における活動)					
			介護等体験(事前指導含む)					
	教育実習先開拓、事前指導、現場実習、事後指導							
採用試験対策	ガイダンス	筆記・面接・論作文等試験対策			筆記・面接・論作文等試験対策、総まとめ			教員採用試験
	模擬試験	模擬試験・対策講座・自主学修会等			模擬試験・対策講座・自主学修会等			直前対策等

※芸術学部は第6セメスターで教育実習を実施するため、実習先開拓、事前指導も前倒しになります。